

## 福祉職場説明会アンケート集計結果

北海道福祉人材センターでは、平成30年度に実施した「福祉職場説明会アンケート」の結果を取りまとめました。

結果は、本センターのHP (<http://hfjc.jp/>) に掲載します。

### 【調査概要】

- 1 目的 福祉職場説明会においてアンケートを実施し、昨今の求人側・求職側の考えやニーズ、状況など把握し、今後の求人求職活動の推進を図る。
- 2 実施日 第1回：平成30年 6月2日（土）  
第2回：平成30年10月4日（木）
- 3 対象 第1回：参加者116名（一般58名／学生58名）  
事業所42法人  
第2回：参加者139名（一般83名／学生56名）  
事業所126法人
- 4 方法 福祉職場説明会参加者、出展事業所（法人）に配布・回収
- 5 回答数 第1回：参加者43名（回答率 37%）  
事業所42法人（回答率100%）  
第2回：参加者109名（回答率 78%）  
事業所124法人（回答率 98%）

## 【調査結果のポイント（1回目・2回目を合わせた結果）】

### ◆ 福祉職場説明会アンケート（参加者用）

#### 問1 性別

回答者の性別は、「女性」が最も多く 67.8%を占めた。

また、昨年より「女性」の参加が 12%増加した。

#### 問2 年齢層

回答者の年齢層は、「20歳代」が 50.7%と最も多く、40歳代以上の方の参加も 33%となった。

#### 問3 お住まい

「札幌市内」・「札幌市近郊」にお住まいの方をあわせると 71.5%となった。

#### 問4 現在の職業

現在の職業状況は、「学生」が 49.3%と最も多く、続いて「無職」が 28.3%であった。

2回目（10月開催）の結果では、就業中の方（1会社員～5病院・医療関係職員）の参加が 19.3%占めており、昨年度及び1回目よりも就業中の方の参加が多かった。

#### 問5 福祉職場説明会を何で知ったか

「学校」が 38.7%と最も多く、続いて「ハローワーク」が 17.4%、「福祉人材センター・バンク」が 14.2%であった。

昨年度と比較して、「友人・知人から聞いた」方の割合が 5.6%増加した（平成 29 年度 4.1%、平成 30 年度 9.7%）。

#### 問6 参加された動機

「福祉職場への就職・転職」が 71.8%と最も多く、続いて「福祉職場に興味があるため」が 23.1%であった。

昨年度と比較して、「福祉職場への就職・転職」の割合が 9.2%増加した（平成 29 年度 62.6%、平成 30 年度 71.8%）。

#### 問7 各コーナーの内容

福祉職場個別面談コーナーへ参加して「参考になった」と回答した方が 91.4%を占めた。

#### 問8 福祉職場説明会開催時期・時間

開催時期、時間ともに 90%以上の方が「ちょうどよい」と回答された。

昨年度は、8月と2月に開催し、91.3%の方が「ちょうどよい」と回答しており、今年度は6月と10月に開催して94%の方が「ちょうどよい」と回答した。アンケート結果から開催時期の変更による不都合は感じられなかったことがわかった。

#### 問9 福祉職場での勤務経験の有無

勤務経験「なし」が 67.7%であった。

特に1回目（6月開催）は、アンケート回答者の半数以上が学生であったことから、「経験なし」の割合が高くなったと考えられる。

昨年度と比較して、「経験なし」の割合が 9.2%増加しており、経験のない方の参加が増加傾向となっている（平成 29 年度 58.5%、平成 30 年度 67.7%）。

#### 問10 現在保有している資格

「無資格」が 27.7%と最も多く、続いて「ヘルパー1級・2級」が 15%、「介護福祉士」12.7%であった。

なお、何らかの資格を保有している方は、72.3%の反面、上記（問9）では、福祉職場での勤務経験「なし」と回答された方が67.7%を占めているため、資格保有者であっても勤務経験がない方の参加が多いことが伺える。

#### **問11 希望する福祉職場の分野**

「高齢者福祉施設【入所】」が15.9%と最も多く、続いて「知的障害者関係福祉施設」が13.3%、「高齢者福祉施設【通所】」12.7%となった。

昨年度と比較して、高齢者分野（1 高齢者福祉施設【入所】、2 高齢者福祉施設【通所】）の割合が6.9%減少した（平成29年度35.5%、平成30年度28.6%）。

#### **問12 希望する雇用形態**

「正規職員」を希望する方が76%と最も多く、続いて「非常勤・パート」が10.3%、「雇用形態にはこだわらない」が7.5%となった。

昨年度と比較して、「非常勤・パート」の割合が6%増加し、「正規職員」に続く割合となった（平成29年度4.3%、平成30年度10.3%）。

#### **問13 福祉職場への就職を希望する理由**

「やりがいのある仕事だと思ったから」が23.1%と最も多く、続いて「人・社会に役立つ仕事だと思ったから」が21.1%、「対人援助の仕事をしたかったから」が18.2%となった。

#### **問14 就職先を選ぶ上で重視していること**

「勤務時間帯・曜日」が16.5%と最も多く、続いて「賃金・賞与額等」が16%、「通勤時間・交通手段の利便性」が11.5%となった。

昨年度は、「賃金・賞与額等」が16.8%で最も多く、続いて「勤務時間帯・曜日」と「通勤時間・交通手段の利便性」が同数の13.5%であった。順位に変更があったものの、上位3項目に変更は無かった。

#### **問15 福祉職場に就職する際にあなたが希望する勤務地**

「札幌市及び近郊の市」を希望する方が最も多く72.1%を占めた。

また、勤務地は「問わない」方も20.7%いた。

#### **問16 就職にあたり不安に思っていること**

「職場内の人間関係がうまくいくのか不安」が20.9%と最も多く、続いて「人出不足が原因で1人あたりの仕事量が多くないか」が14.4%、「研修体制が整っているか」が12.6%であった。

昨年度の上位3項目も同じであったことから、人材確保の上でこれらの項目への対応が重要であると考えられる。

## ◆ 福祉職場説明会アンケート（事業所用）

### 問1 職員を採用するにあたって重視すること

「人柄」が44.9%と最も多く、続いて「土日勤務・夜勤・宿直勤務できること」が25.1%、「保有資格」が16.5%となった。

昨年度と順位に変更はなかったが、「人柄」が2.6%増加し、「保有資格」が4.7%減少しており、資格より人柄を重視する傾向が伺える。

### 問2 採用したい職員の性別

採用したい職員の性別は「問わない」が最も多く78.2%を占めた。

### 問3 採用したい職員の年齢層

「20歳代」が33.3%と最も多く、続いて「30歳代」と「問わない」が27.1%で同数となった。

昨年度と順位に変更はなかったが、「問わない」の割合が3.5%増加しており、人材不足解消のために年齢層は「問わない」事業所が増えていることが伺える。

### 問4 採用する職員に求める資格

「介護福祉士」が20.7%と最も多く、続いて「社会福祉士」が9.9%、「介護職員初任者研修」が9.4%であった。

参加者アンケートにおいて、上記資格を保有している割合は、介護福祉士が12.7%、社会福祉士が5.8%、介護職員初任者研修が8.7%であった。

### 問5 採用する職員に求める人物像

「協調性のある人」が14.7%と最も多く、続いて「社会常識、社会性、礼儀のある人」が10.8%、「思いやり・やさしさ・温かさがある人」が10%であった。

### 問6 職員を採用するにあたっての課題

「人手不足が原因で1人あたりの仕事量が多い」が16.6%と最も多く、続いて「大学・専門学校等からの応募が少ない」が16.3%、「夜勤・宿直等の勤務時間帯を希望する求職者が少ない」が16%であった。

参加者アンケートにおいても参加者の就職にあたっての不安として「人手不足が原因で1人あたりの仕事量が多い」が14.4%であり、事業所が考える課題と一致した。

### 問7 職員募集の際に利用している機関等

「ハローワーク」が32.5%と最も多く、続いて「北海道福祉人材センター・バンク」が19.1%、「法人等HP」が13.4%であった。

法人の多くは、独自のホームページを作成し、情報を発信・公開するほか、複数の機関に募集掲載を行い、広く周知をしていることが伺える。

### 問8 高卒者の採用

「積極的に採用したい」が48.2%で、「条件が合えば採用する」の43.9%と合わせると92.1%を占めた。高校生の採用を前向きに検討される事業所が多いことが伺える。

### **問 9 正職員への転換の有無**

正職員への転換について、99.4%が「ある」と回答した。

### **問 10 施設・事業所での研修体制**

「施設内研修を計画的に実施している」が 36.4%と最も多く、続いて「外部研修に職員を計画的に参加させる」が 33.3%、「OJT を積極的に実施している」が 24.2%であった。

参加者アンケートにおいて、参加者が就職にあたり不安に思っていることとして「研修体制が整っているか」が 12.6%であったが、なんらかの研修を実施している事業所が 9割以上 97.9%であった。

### **問 11 職員の有給休暇**

「概ね 1 割以上 5 割未満取得している」が 67.9%、「概ね 5 割以上取得している」が 27.3%であった。

### **問 12 正規職員の定期昇給の有無**

正規職員の定期昇給を「実施している」が、95.2%であった。

### **問 13 非正規職員（常勤・非常勤・パート）の継続雇用**

非正規職員（常勤・非常勤・パート）の継続雇用を「基本的に継続雇用する」が 92.6%であった。